

オフ・ブロードウェイミュージカル
『ALTARBOYZ』あの時の感動を再び！
1月14日よりメタシアターにて
VOD配信スタート！

2022年1月14日
SHIN s WAVE

株式会社SINsWAVE（韓国ソウル鐘路区 代表:シン・ジョンファ）が主催・制作（共同制作ドリームメーカー）、韓国・日本・タイ・台湾・香港をはじめアジア24カ国1万2千人余りのファンが歓呼する中、昨年12月24日に幕を下ろしたオフ・ブロードウェイミュージカル『ALTARBOYZ』（アルターボーイズ）が、本日1月14日（金）14時より公演専門グローバルプラットフォームメタシアター（<https://metatheater.live>）にて最も反響の高かった初日公演と千秋楽のマスターバージョンのVODサービスの配信を1月5日公式SNSを通じて発表した。

2004年、劇作家ケビン・デル・アギラと作曲家ゲイリー・アドラーによるオフ・ブロードウェイミュージカル『ALTARBOYZ』は、5人のダンスボーカルグループ【ALTARBOYZ】が歌とダンスで愛を伝え、観客の魂を癒すというストーリーだ。

昨年12月18日より開幕した韓国公演では、SUPERJUNIOR ウニョクがK-POPスターとしては初めてミュージカル演出デビューを果たした作品としてグローバルK-POPファンの関心を集めた。さらにNU'EST ベクホ|ASTOROユンサナ|SF9ユ・テヤン|Golden Child Y&ホン・ジュチャンらグローバルK-POPスターが主演をつとめ、イ・ウニョン|ペク・グヨン|イ・スビン|キム・ジュンウら韓国を代表する創作チームによる完成度の高い台本と音楽によるブロックバスター級コンサートとして熱い反響と高い評価を得た。

今回の『ALTARBOYZ』VODコンテンツは、昨年12月18日の初日公演と12月24日の千秋楽公演のマスターバージョンの臨場感をそっくり盛り込んで配信される。また、マシュー役のNU'EST ベクホ|アブラハム役のASTOROユンサナ|ファン役のSF9ユ・テヤン|ルーク役のGolden Child Y|マーク役のGolden Child ホン・ジュチャンら各主演俳優別バージョン（フォーカスカメラ）も順次製作・配信を予定している。

制作会社のSHINsWAVEは、「超大型グローバルコンサートを連想させるスケールと構成でオフ・ブロードウェイミュージカル『ALTARBOYZ』を、【K-POPミュージカル】という独創的な公演スタイルにした本作を様々なバージョンのVODサービスとしてお届けする。今回のVODグローバルサービスは『ALTARBOYZ』を視聴出来なったK-POPファン、または会場での感動を記憶に留めたい観客のために準備した。オフライン公演のリアルな臨場感と熱い熱気をもう一度感じられる機会になるだろう」と伝えた。

ミュージカル『ALTARBOYZ』のVODサービスは本日14日よりメタシアターにて配信・視聴可能だ。詳細はメタシアター公式サイト・SNSを通じて確認することができる。

【イメージ】





【ストーリー】

原作 ケビン・デル・アギラ、 作詞・作曲ゲイリー・アドラー&マイケル・パトリック・ウォーカーにより創作されたオフ・ブロードウェイ・ミュージアカー『ALTARBOYZ』

"絶望のあるところに希望を、闇のあるところに光を与えたまえ！

そして強烈なビートがある場所に、 熱いリズムで燃え上がらせたまえ！ "

2021年アルターボーイズのワールドツアー最後の公演がソウルから始まる！

華やかなステージが繰り広げられるコンサート会場で、マシューは「ソウルセンサー(魂探知機)」を観客に紹介する。この「ソウルセンサー」には、会場内に心の重荷を負っている魂の数字が表示されるが、彼らの歌で会場内の人々を慰め、その数字を減らしていく奇跡を成し遂げる。

ノンストップで進行される高難易度の振り付けとカッコいい音楽！

公演の熱気が増すにつれ、「ソウルセンサー」に表示された数字は減り、情熱的なコンサートとともにメンバー5人にまつわるストーリーも舞台に一つ、二つずつ現れてくるが…

公演名 『ALTARBOYZ』（アルターボーイズ） VOD

配信日 2022年1月14日(金) 14時より 2公演

①2021年12月18日公演 15\$

②2021年12月24日公演 15\$

* 公演時間 約100分 / 日本語字幕あり

詳細はメタシアター(<https://metatheater.live>)

キャスト NU'ESTベクホ | ASTROユンサナ | SF9ユ・テヤン | Golden Child Y&ホン・ジュチャン

演出 SUPER JUNIOR ウニョク | イ・ウニョン

編曲 ホ・ユノオン | キム・ジュンウ

音楽監督 キム・ジュンウ

振付 ペク・グヨン | イ・スビン

制作 株式会社SHIN s WAVE | ドリームメーカーエンターテインメント

本件に関するお問い合わせ先

担当 斉藤 : saito.m@solecompany.jp